

1 基本情報

大項目	美しく豊かなまちづくり
中項目	緑の保全・創出
小項目	みどり
施策の方針	都市の美しさを象徴する緑の保全・創出に向けて、公園・緑地等の整備や協働による維持管理を行います。

2 現況と課題（平成30年度末の状況）

●市では緑地率29%を維持することを目指していますが、生産緑地の解除や空閑地の減少等により緑地は失われつつあります。そのため、「身近な緑」「地区の拠点となる緑」の整備を進めて、緑地率の維持に努める必要があります。

●緑地が失われつつある中で、新たな緑地の創出が必要です。そのため、事業者に対し開発により失われた緑を補う新たな緑の創出を働きかけていく必要があります。

●身近な緑を守り育てていくためには、緑の大切さや必要性に対する意識の啓発とともに、地域の協力を得ることが必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	1,299,099	1,019,927	648,191	803,311	
人件費(予算)	84,108	74,696	99,098	107,985	
合計	1,383,207	1,094,623	747,289	911,296	0
対前年比	—	79%	68%	122%	

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	
				各年度目標値						
1	C	「ふれあいの森」の面積	7.2	7.1	6.5	6.0	—	—	現在、7箇所がふれあいの森として認定されており奨励金の交付、整備及び維持管理を行っている。指定解除により減少しているが、今後、計画的に用地を確保して保全を図っていく。	
		みどり公園課 市内の「ふれあいの森」の面積(累計)	/	—	7.2	7.2	7.2	7.2		—
2	A	都市公園の面積	89.5	89.7	89.9	90.1	—	—	主に土地区画整理事業などによって生み出された用地の公園整備を行っている。年間1箇所の公園の整備を進めており、市内都市公園の充実を図っている。	
		みどり公園課 市内の都市公園の面積(累計)	/	—	89.7	89.9	90.1	90.1		—
3	A	開発指導により創出された緑地の面積	2.1	2.8	3.2	3.7	—	—	新たな緑を創出するため、開発行為に対して市の基準に基づき緑地の設置を指導するとともに、公共事業や開発等で創出された緑の維持管理を行っている。新規の緑地を増やしていくために、開発案件に対して的確な緑化指導を図っていく。	
		みどり公園課 開発指導により新たに創出された緑地の面積(累計)	/	—	1.2	2.8	3.3	3.8		—
4	A	公園管理協定の公園数	62	62	63	64	—	—	平成30年度に1か所新規締結を行った。市民参加による公園の管理を進めるために、事務区への相談、協議を実施することで地元の団体等と管理協定の締結を推進していく。	
		みどり公園課 公園管理協定を締結している都市公園の数(累計)	/	—	63	63	64	64		—
5								—	—	
6								—	—	
7								—	—	
8								—	—	
9								—	—	
10								—	—	
11								—	—	
12								—	—	

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	75%	3/4
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	25%	1/4

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	地域文化の継承と創造
小項目	文化・芸術
施策の方針	文化・芸術活動を行う市民が自主的かつ積極的に取り組み、成果を発表するとともに、それぞれの市民が望む文化・芸術を享受できるよう、親しむ機会及び成果発表の機会の提供、活動に対する支援を行います。

2 現況と課題(平成30年度末の状況)

●市民が広く文化・芸術に親しむには、行政と民間が連携して文化・芸術の機会を提供する必要があります。

●多くの市民・団体が文化・芸術活動に取り組んでいますが、日頃の活動の成果を発表できる機会を継続的に確保する必要があります。

●地元芸術家に活動の機会を提供することにより、その育成につなげるとともに、市民が気軽に文化・芸術に触れる機会をつくる必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	23,289	21,838	22,771	21,119	
人件費(予算)	33,390	20,570	26,077	17,571	
合計	56,679	42,408	48,848	38,690	0
対前年比	—	75%	115%	79%	

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	
				各年度目標値						
1	C	文化・芸術に親しむ市民の割合	78.6	75.7	83.2	82.6	—	—	多くの市民が広く文化・芸術に親しむことができるよう、行政と民間(公益財団法人 上尾市地域振興公社)、文化団体等が連携して、文化・芸術の機会を提供している。平成30年度は上尾美術展、市民音楽祭、クラシックコンサートの開催など、市民に芸術鑑賞の機会を提供と同時に、市展や音楽祭では、芸術に親しむ市民の日頃の研鑽の成果を発表する機会の提供を実施しており、今後、様々な形で芸術支援について検討していく。	
		生涯学習課 市民音楽祭等の参加者アンケートで、上記の内容を回答した人の割合(単年度)	—	80.0	80.0	84.0	84.0	—		
2	A	上尾市美術展覧会への出品点数	462	461	467	485	—	—	公募による美術展を開催し、美術の創作活動を行う市民に発表の場を提供と、創作活動の奨励及び芸術活動への意識を高められるよう、優秀作品には表彰を行っている。美術館のない本市においても、美術館のある他市と同等の美術展が開催できていることは貴重であり、市民ギャラリーなどにおいて、市内団体・個人による美術展も1年を通して数多く開催されていることから市民の芸術活動は堅調であるといえるため、今後も継続して開催していく。	
		生涯学習課 市美術展覧会に出展された作品の数(単年度)	—	462	462	462	462	—		
3	A	小学校への出張コンサートの開催数	5	5	5	6	—	—	上尾市ゆかりの音楽家に対して地元での活動を支援しつつ、市民に芸術鑑賞の機会を提供することを目的として、市内ホールで本公演を行い、そのコンサートを小規模にしたコンサートをアウトリーチで開催した。会場校となった小学校では、小学生が本格的なクラシックコンサートを鑑賞することで、情懷を豊かにする学びが得られた。平成26年から30年までの間に全22校の小学校において計画的に実施し、今年度実施分で全校で開催することとなる(H26:1校、27:5校、28:5校、29:5校、30:6校)。今後は、上尾の児童にとって有意義な事業となるように努めていく。	
		生涯学習課 地元芸術家による小学校での出張コンサートの開催数(単年度)	—	5	5	6	—	—		
4							—	—		
								—		
5							—	—		
								—		
6							—	—		
								—		
7							—	—		
								—		
8							—	—		
								—		
9							—	—		
								—		
10							—	—		
								—		
11							—	—		
								—		
12							—	—		
								—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	67%	2/3
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	33%	1/3

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	地域文化の継承と創造
小項目	文化財
施策の方針	市の歴史、文化等の理解に不可欠な文化財や歴史資料の適切な保存・継承を進めます。また、市民が文化財や歴史資料に親しみ、その価値への理解を深められるよう、普及啓発や情報提供を行います。

2 現況と課題（平成30年度末の状況）

- 現存する文化財を後世に継承していくには、指定文化財や登録文化財として保存・管理していく必要があります。
  - 無形民俗文化財の中には、保持団体の会員数の減少や保持者の高齢化により継承が難しくなっているものもあり、継承に向けた支援が必要となっています。
  - 収集した歴史資料を保存していくには、未整理資料の速やかな目録作成が必要です。
  - 市の文化財や歴史資料等を保護していくには、普及啓発や情報提供により、その価値を多くの人へ周知していく必要があります。
- <法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	14,381	8,676	14,528	16,808	
人件費(予算)	46,447	45,852	31,775	38,436	
合計	60,828	54,528	46,303	55,244	0
対前年比	—	90%	85%	119%	

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	
				各年度目標値						
1	A	指定・登録文化財件数	122	122	122	122	—	—	市文化財保護条例に基づき、市内に所在する文化財のうち重要なものを市指定文化財等として指定し、その保存及び活用を図っている。国登録有形民俗文化財「上尾の摘田・畑作用具」資料調査整備事業を着実に実施し、国の重要有形民俗文化財指定を目指すとともに、市内に存する文化財の調査を引き続き実施していく。	
		生涯学習課 市指定文化財・市登録文化財の件数(累計)	—	122	122	122	123	—		
2	A	活動している無形民俗文化財の保持団体数	38	37	37	37	—	—	市文化財保護条例に基づき、重要な無形民俗文化財について市民の文化的向上に貢献するため、保存及び活用に必要な措置を講じている。平成28年度の「陣屋囃子連」の解散以降、保持団体数は減じていない。後継者育成等を支援しつつ、将来にわたり今ある文化財を伝承していく。	
		生涯学習課 無形民俗文化財の保持団体の数(累計)	—	37	37	37	37	—		
3	A	整理された歴史資料の目録点数	15	16	17	18	—	—	市で収集した歴史資料を後世に継承し、その活用を図るため、整理や目録の刊行を実施している。旧大谷農業協同組合文書目録の第3巻を刊行し、今後は、令和3年度までに目録の4巻から6巻を毎年度1巻ずつ刊行していく。	
		生涯学習課 刊行された歴史資料目録の点数(累計)	—	16	17	18	19	—		
4	A	あげお歴史セミナー等の参加者数	3,795	3,282	1,222	1,911	—	—	生涯学習課単独事業「あげお歴史セミナー」は、大人数の参加が可能な講座形式のもの以外にも参加型の少人数講座等、参加者の理解度・満足度を深められるような魅力的な講座を企画していく。平成31年度は前年行われた市制施行60周年事業が行われなかったため、平成29年度と比較して参加者数の増加を目指す。 ※上尾市地域振興公社との共催事業である「第6回上尾の昔-あそび・くらし展」の来場者の集計方法が変更となったため、平成29年度は前年と比較し、参加者数が減少している。	
		生涯学習課 あげお歴史セミナー等の啓発事業への参加者数(単年度)	—	3,800	3,300	1,250	1,300	—		
5							—	—		
6							—	—		
7							—	—		
8							—	—		
9							—	—		
10							—	—		
11							—	—		
12							—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	100%	4/4
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	0%	0

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	生涯学習・スポーツの振興
小項目	生涯学習
施策の方針	市民が生涯にわたり、あらゆる機会・場所で学習することができ、その成果を適切に生かせるよう、生涯学習情報の提供、生涯学習活動の機会の提供、生涯学習推進の体制づくり、生涯学習活動の成果の活用を推進していきます。 また、市民ニーズを踏まえ、誰もが身近に利用できるよう、図書館サービスの充実を図ります。

2 現況と課題（平成30年度末の状況）

- 学習意欲を持つ市民に、生涯にわたる学習の必要性や重要性を認識し、興味・関心を高めてもらうには、生涯学習に関する情報の収集と積極的な提供が重要です。
- 生涯学習活動を進める主なきっかけとなる公民館講座は、対象者に応じて分類・体系化することで、多様な学習機会の提供を図ることが必要です。
- 高度化・専門化した学習機会の提供には、教育機関・民間企業等との連携・協働が必要です。
- 生涯学習を通じて市民の地域課題への関心を高めることが必要です。
- 生涯学習の一層の振興には、生涯学習活動を担う社会教育関係団体を支援するとともに、生涯学習に関する施策の検討や推進する体制の整備を行うことも必要です。
- 生涯学習の成果を生かす「まなびすと指導者バンク」の利用件数が少ないため、指導内容の充実を図るなど支援を工夫することが必要です。
- 資料・サービス等、市民の多様化した図書館ニーズへの対応が必要です。
- 誰もが図書館を身近に利用できるよう施設や運営体制の整備が必要です。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	750,803	575,332	3,097,463	472,290	
人件費(予算)	172,815	214,065	212,928	182,647	
合計	923,618	789,397	3,310,391	654,937	0
対前年比	—	85%	419%	20%	

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針
				H27	H28	H29	H30	H31	R2	
				各年度目標値						
1	B	公民館で生涯学習活動を行った人の数	9,352	8,477	7,929	8,283	—	—	6公民館で135講座を実施した。平成29年9月末に文化センターの耐震工事が完了し、上尾公民館が開館となったため、平成30年度は6公民館で年間を通して事業を実施することができた。引き続き、市民に多種多様な学習機会を提供し、学習意欲の醸成に寄与することができるよう、計画に沿って内容の充実を図っていく。	
		生涯学習課 生涯学習活動を行った人の数(公民館まつりを除く・単年度)	—	8,600	8,250	8,500	8,500	—		
2	A	教育機関・民間企業等と連携・協働して実施した講座数	10	12	14	16	—	—	大学・他市町と連携した「子ども大学あけお・いな・おけがわ」、民間企業と連携した高齢者向けのインターネット教室等、6公民館で教育機関及び民間企業等と連携して13事業を実施し、様々な学習機会を提供することができた。今後も同様の事業を継続して実施していく。	
		生涯学習課 教育機関等と連携して実施した生涯学習講座の数(単年度)	—	11	13	14	16	—		
3	A	家庭教育推進事業の参加者数	396	273	283	573	—	—	平成30年度は、外部団体と合同開催だったため大幅に参加者数が増加した。しかし、本来の潜在的参加者(PTA)数は300人前後であるため、今後も他部署との共同や著名人を講師として招くなど魅力的な講演会を検討していく。	
		生涯学習課 家庭教育講演会に参加した人の数(単年度)	—	300	400	400	400	—		
4	C	学校施設(特別教室)開放事業の利用件数	903	1,238	1,367	1,323	—	—	平成30年度は学校や地域での利用が増加したため、学校開放のサークル・グループでの利用は微減している。ただ利用可能な日の利用件数、利用者数ともに高い水準のままである。今後も学校、地域、家庭等が連携し、社会教育を推進する場となるよう整えていく。	
		生涯学習課 学校施設開放事業による特別教室利用件数(単年度)	—	1,200	1,250	1,400	1,350	—		
5	C	まなびすと指導者バンク登録者数	143	155	145	133	—	—	まなびすと指導者バンク新規登録者は徐々に増えてきているが、登録者の高齢化により更新時に辞退する人も多く、実質登録者数は減少している。また、市民の自主グループ数の増加も減る中、指導者バンク登録者の活躍の場を広げることが難しくなっており、今後は若い人材の登録を促進しつつ、引き続き登録者の活用のPRに努めていく。	
		生涯学習課 まなびすと指導者バンクに登録している人の数(累計)	—	150	160	160	160	—		
6	B	図書館の利用者数	427,889	405,641	393,910	399,264	—	—	多様化する利用者ニーズに応えるため、資料を幅広く収集し図書資料の充実にも努めるほか、オンラインデータベースの活用、おはなし会や映画会等の行事など、計画的に実施している。図書館の利用者数の推移に比べ、WEBによる図書貸出予約件数の増加率が顕著であることから、背景に、図書館の利用形態の変化(来館型から非来館型へ)があることも推察される。	
		図書館 図書館の年間利用者数(単年度)	—	420,000	420,000	420,000	420,000	—		
7	A	図書館資料の予約・リクエスト件数	214,776	208,193	205,802	216,866	—	—	図書館資料の予約・リクエストについては、上尾市図書館で所蔵していない資料についてもリクエストで対応し利用者の要求に応じている。住民リクエストをより満足させることができるよう、県内図書館はもとより国会図書館等との連携することで更なるサービス向上を目指していく。	
		図書館 図書館が所蔵する資料の予約等の件数(単年度)	—	210,000	210,000	210,000	210,000	—		
8						—	—			
9						—	—			
10						—	—			
11	達成	A 目標に達しているもの	43%	3/7			—	—		
		未達成	B 前年度より改善しているもの	29%	2/7			—	—	
12	未達成	C 前年度より改善していないもの	29%	2/7			—	—		
							—	—		

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	43%	3/7
未達成	B 前年度より改善しているもの	29%	2/7
未達成	C 前年度より改善していないもの	29%	2/7

1 基本情報

大項目	美しく心豊かなまちづくり
中項目	生涯学習・スポーツの振興
小項目	スポーツ・レクリエーション
施策の方針	上尾市スポーツ都市宣言を踏まえ、市民がスポーツを通じて自身の健康・体力向上やそれぞれの夢の実現を目指す、健康で活気に満ちたスポーツ活動の推進を図ります。また、見る人への感動だけでなく、学ぶ感動、支える感動を与える市民スポーツを推進します。

2 現況と課題 (平成30年度末の状況)

- 市民が広くスポーツに親むるためには、身近にスポーツ・レクリエーション活動ができるスポーツ施設の整備・改修等が必要です。
- 余暇の増大等による生活スタイルの変化や、健康・体力作りへの関心、多様なスポーツイベントへの参加ニーズに対応してスポーツ・レクリエーション事業の充実が必要です。
- 運動をする子どもとしない子どもの二極化の進行や、少子化に伴う運動部活動数の減少等により、児童生徒の運動の習慣化が重要な課題となっています。そのため、学校教育だけでなく社会体育の面からも、子どもたちにスポーツに親むる機会を提供することが必要です。
- スポーツ・レクリエーション活動が安全で楽しく行われるためには、スポーツ指導者が不可欠であり、その育成と資質向上が重要です。
- 地域に根差した生涯スポーツの推進のためには、スポーツ団体との連携・協力が不可欠であり、その育成・支援を行っていく必要があります。

<法令等の改正>

3 施策経費の推移

(単位：千円)

	H28	H29	H30	H31	R2
事業費(予算)	113,989	164,265	189,897	548,252	
人件費(予算)	57,806	66,065	67,324	87,739	
合計	171,795	230,330	257,221	635,991	0
対前年比	—	134%	112%	247%	

4 主な指標の取組状況

No.	達成状況	指標名		各年度実績値						取組内容とその評価・今後の方針	
				H27	H28	H29	H30	H31	R2		
				各年度目標値							
1	C	施設の利用者数	方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	市民体育館、屋外スポーツ施設(平方スポーツ広場・平塚サッカー場・平方野球場)、学校開放施設について、利用しやすい施設となるよう整備を行っているが、学校開放の校庭利用、平方スポーツ広場及び市民体育館の利用者数が減少したことにより、施設の利用者数が減少した。引き続き利用しやすい施設となるよう整備を行っていく。
				人	1,004,700	1,047,281	1,040,888	1,021,488	—	—	
2	C	スポーツ・レクリエーション事業の参加者数	方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	市民体育祭、上尾シティマラソン、上尾市民駅伝、いきいきライフ大運動会、スポーツ・ステップアップ講座、いきいきスポーツ教室、小学生ドッジボール大会、スケート教室を開催し、市民のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供している。平成30年度は、「市民駅伝」が悪天候により中止となってしまったこと、平成29年度実績数よりも減少してしまった。また、今年度よりバレーボール教室の他課移行やげんきチャレンジの廃止により参加者の減が見込まれる。
				人	16,906	19,605	19,952	19,739	—	—	
3	C	スポーツイベントに参加する児童生徒の数	方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	上尾シティマラソン、上尾市民駅伝、小学生ドッジボール大会、バレーボール教室、げんきチャレンジ、スケート教室を開催し、児童生徒のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供している。平成30年度は「市民駅伝」が悪天候により中止となったため、人数が減少したが、引き続き、児童・生徒のスポーツ・レクリエーションへの参加の機会を提供していく。また、今年度よりバレーボール教室の他課移行やげんきチャレンジの廃止により参加者の減が見込まれる。 ※平成29年度目標値は「小学生ドッジボール大会の6年生の部」及び「なわとび大会」を廃止することから目標値を下方修正した。基準値については平成29年度実績値とする。【基準値：4,009】
				人	7,291	6,532	4,009	1,773	—	—	
4	C	スポーツ・レクリエーションに関するスキルアップ講座等の受講者数	方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	スポーツ・ステップアップ講座、AED講習、スポーツ推進研修を開催し、指導者の育成を行っている。平成29年度は2年に一度のスポーツ推進委員を委嘱した年であり、その新規スポーツ推進委員の多くがステップアップ講座を受講したことにより一時的に受講者数が増加している。毎年、継続的に実施していくことで、スポーツ人口及び指導者の裾野を広げていく。
				人	74	73	112	78	—	—	
5	C	スポーツ推進員研修等の講座に参加した人の数(単年度)	方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	
				人	—	80	80	90	90	—	
6	C		方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	
				人	—	—	—	—	—	—	
7	C		方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	
				人	—	—	—	—	—	—	
8	C		方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	
				人	—	—	—	—	—	—	
9	C		方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	
				人	—	—	—	—	—	—	
10	C		方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	
				人	—	—	—	—	—	—	
11	C		方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	
				人	—	—	—	—	—	—	
12	C		方向性	単位	—	H28	H29	H30	H31	R2	
				人	—	—	—	—	—	—	

5 主な指標の達成状況

達成	A 目標に達しているもの	0%	0
未達成	B 前年度より改善しているもの	0%	0
未達成	C 前年度より改善していないもの	100%	4/4